

No.5

## 事業シート（概要報告書）

事業名	学校プール開放業務	個別事業名 (必要に応じて記入)	
部課名	生涯学習部 文化・スポーツ課		
事業期間	開始年度 昭和62年	完了予定年度	継続
事業目的	市民プールの代替として、小学校の夏季休業期間中にプールを開放し、市民が身近な場所で気軽にプールを楽しむことができる環境を整備する。		
事業内容	夏季休業中に、無料で小学校11校（第一、第三、第四、湖北、湖北台西、湖北台東、高野山、根戸、並木、新木、布佐南）のプールを23日間一般開放し、2校（第2、布佐）を5日間団体開放を実施する。 ※開放校については、学校の修繕工事等により開放できない場合があります。		
実施上の課題と対応	プール開放業務を行うにあたり、監視員を配置することが必要があり、委託料が増加しているため開放校数や開放日数の検討が必要である。		

費用		単位	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
事業費		千円	22,561	24,150	26,166
内訳	学校プール開放業務委託料	千円	18,296	20,052	21,104
	プール開放用施設・備品賃借料	千円	1,787	2,357	3,086
	市民一般開放用備品購入費	千円	1,753	774	871
	消耗品費	千円	450	606	657
	手数料	千円	137	176	236
	保険料	千円	138	175	202
	施設修繕料	千円	0	10	10
		千円			
	千円				
	千円				
	千円				
人件費		千円	1,192	1,189	1,189
内訳	正職員・再任用職員	千円	870	870	870
	会計年度任用職員	千円		319	319
	嘱託職員	千円			
	臨時職員	千円	322		
総事業費（事業費+人件費）		千円	23,753	25,339	27,355
財源		千円	23,753	25,339	27,355
内訳	国・県支出金	千円			
	地方債	千円			
	その他特財	千円			
	一般財源	千円	23,753	25,339	27,355

事業実績		単位	令和元年度実績	令和2年度見込み	令和3年度見込み
指標名	延べ利用人数	人	9,090	10,000	10,000